

製品・技術 PR レポート**1. 企業概要**

会社名	株式会社フミン			代表者名	八木澤 勝夫		
				窓口担当	八木澤 勝夫		
事業内容	環境対策資材の製造			URL	http://www.fumin.jp		
主要製品	省エネルギーガラスコーティング「フミンコーティング」、環境保全型農業資材「MR-X」						
住所	〒960-8161 福島県福島市郷野目字上 21						
電話/FAX 番号	024-544-0223/024-545-0620			E-mail	k-yagisawa@fumin.jp		
資本金(百万円)	10	設立年月日	昭和 53 年 11 月	売上(百万円)	39	従業員数	4

2. PR事項

「ガラスに遮熱剤・UV吸収剤をスプレーガンで！約1.5 μ の均一な薄膜を形成！」

ガラス・ポリカーボネートなどに、透明に塗れる塗料とスプレーガン特許技術を提供している。



フミン特有スプレーガン



作業風景



**東京・六本木 K美術館 全面施工
2011年度 年間削減電気量 220万 kWh**

簡単な装置で全てのガラス、ポリカーボネートに約 1.5 μ の歪みのない均一な薄膜を形成することで、ガラスが暑い熱と UV(紫外線)を止める。冬季は室内熱の流出を抑制し結露も抑制する。

今般、ある空調機メーカーがLED照明・空調機・窓ガラスの省エネ技術など、トータルの省エネ提案を行うため新たに代理店に参加してきた。大企業の省エネ製品と省エネ・フミンコーティングのジョイントビジネスが始まろうとしている。

海外ではインド、中東、香港などからの案件が増えたため、香港にフミングローバルを設立。

太陽光の明るさを変えず暑い熱を約 70%カット、紫外線を約 90%カット、日射反射率 7%とガラスより反射が少ないためヒートアイランド対策にもなる、耐久年数 10 年の究極の省エネルギー技術として注目されている。

[特許取得国]

日本、アメリカ、中華人民共和国、香港、台湾、シンガポール、マレーシア、インドネシア、オーストラリア。

特許認可待ちの国：EU、韓国（PCT/JP2006/311013号）

3. 特記事項（期待される応用分野等）

- 海外では、テロ対策のため自動車の黒いフィルムが禁止になった国があり、透明な薄膜に代替の可能性。自動車ガラスに対しては、省エネルギーのためのコーティングの要望が強い。
- 電気自動車の時代が来れば、車両重量を減らすために窓ガラスがポリカーボネートになる可能性がある。さらに空調使用によるバッテリー消費もあり、省エネルギーガラスが期待されている。